

●学校支援情報●

岡崎むかし館通信

<http://www.city.okazaki.aichi.jp/libra/803/p014017.html>

むかし館活用事例や郷土学習のヒントなどの情報を発信します。

vol.6



早いもので、先生方に「岡崎むかし館」の存在について意識していただきたいという思いで、岡崎むかし館通信を発行し、もうすぐ1年経ちます。次年度もよろしくお願いします。

むかし館のあれこれ

— 活用・教材化へのヒント —

「外国人の見た日本文化」

今回は、ドイツ人ケンペル(元禄年間に日本に訪れた)が描いた日本人、とくに「日本の茶の話」について紹介しようと思います。

エンゲルベルト・ケンペルは1651年9月16日に北ドイツの小都市レムゴに生まれ、1716年11月2日に同地で亡くなりました。若くして故郷を出て、各国を転々とした後、オランダ東インド会社に職を得て、アジアへ赴き、長崎出島のオランダ商館で活動しました。来日は1690年(元禄3)9月25日、離日は1692年(元禄5)10月31日でした。この2年間の滞在時に色々な地域に赴き、多くのことを記録として残しています。彼の著書『不思議なアジア』(邦題「廻国奇観」で『日本誌』霞ヶ関出版, 1973, 併録)の中で、とくに日本での茶の製法と喫茶の習慣を詳しく記すと共に、便利な喫茶具として茶弁当に興味を持ち、図解を付して詳細に記録しました。こうして〈Tcha-bento〉の名前は西洋各国に知られるようになりました。

以下に、ケンペルの記録した茶弁当の記載について簡単に紹介します。

「日本人はどのような集まりにも、茶はなくてはならぬ飲料と考えているので、遊山の折にも、必ず茶道具を持参する。青銅の取手、差釘、留針等の付いている携帯用茶道具を持参する。戸の他は一切木で出来ており、漆塗りである。道具入れの上部で屋根型に閉められた戸の合せ目を真直ぐ貫いた穴で、この道具入れを担いで運ぶ際に、この穴に合せて作られている嵌め棒を差し込む。茶道具入れの上段で、ここには錫で内張りした銅の容器が2つ入っている。これらは、それぞれに蓋が付いている。1つには水を入れる。第2の口は湯沸し、第3の口は内部にある風炉。ここに炭火を入れる。また、木筐には茶道具の柄杓、柄杓の柄、茶入、茶杓、茶筅、急須の6点が入っている。」など細かく記録しています。



茶弁当/個人蔵

ケンペルの記述の詳しいことは驚くばかりです。ケンペルが実際に茶弁当を見聞し、手に取って入念に調べたことは間違いないと思います。この記述は、日本にとっても重要で、茶弁当の詳しい記述としては非常に早いものです。

日本文化、とくに「お茶」の文化を紐解く的確な資料だと思います。【N】

岡崎市北部地域 「奥殿温泉」

今、岡崎市北部地域をあるいています。先日、奥殿温泉の存在と温泉が湧出している場所、そして当時賑わっていた様子を聞くことが出来ました。奥殿温泉は「温泉(おゆ)」が湧きます 奥殿宿に 赤いぼんぼり 灯りが招く」と「岩津音頭」7番に歌われています。また大正6年発行の「岩津村誌」には「奥殿字仲田にあり、川石の間より湧出する硫黄泉なり。昔は茶屋を構えて浴客を招く」とあり、当時大変賑わっていた様子が伺えます。当時、この温泉に入られた方に話を伺ったところ、入る時には予約をいれておくと霞川の川石より湧出する場所から冷泉(泉温22.7°Cで1時間に8リットル湧出)を汲んで、お湯をため沸かして浴客を迎えたといいます。大変、硫黄分が多く、膚がすべすべになって湯客に人気があったといわれ、戦後まで多い日には50人ほどの客で賑わっていました。

奥殿温泉が霞川改修で温泉が出なくなった頃に岩津温泉が開業しています。最盛期には、旅館が10軒もあって大変賑わっていました。岩津町の賑わっている様子を子どもたちと一緒に探索してみるのもふるさと再発見の学習につながっていくと思います。

地域をあるくことで、多くの「再発見」と新たな資料の「発掘」があることを感じ取っています。これから多くの情報を提供していきます。【N】



奥殿温泉跡 案内板

岡崎むかし館では過去に2度、お茶をテーマとした企画展を開催しています。こうした特別企画展開催をとおして、様々な情報を蓄積していくのも、当館の役割の一つと考えています。

また、平成25年度の社会科自由研究作品に「岩津温泉」の作品がありました。目にした大人も「へえ～、岡崎に温泉があったんだ。」といっていました。皆さんは、奥殿温泉、岩津温泉を御存じでしたか?ぜひ、そのお湯につかってお膚すべすべを体験してみたかったですね。

●編集/発行(隔月) 岡崎市立中央図書館・企画班 平成26年3月
〒444-0059 岡崎市康生通西4-71 tel.23-3167 / fax.23-3165

次回企画展【企画展「くらしの道具ー今と昔ー⑨仕立てる」3/13~6/10】

企画展関連催事「お手玉を作って遊ぼう！」3/21 10:00-11:30 りぶら会議室101号
参加費：無料 当日随時参加受付(先着20名程度)